



平成 19 年 8 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社グッドマン
代表者名 代表取締役社長 山本 明
(JASDAQ・コード 7535)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理本部長
余語 岳仁
電話 0 5 2 - 7 7 4 - 4 3 5 0

平成 19 年 6 月期通期（連結・単独）の業績予想の修正に関するお知らせ。

平成19年6月期(平成18年7月1日～平成19年6月30日)の業績予想について、平成19年5月16日付当社「平成19年6月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）」及び平成19年2月20日付当社「平成19年6月期 個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 通期業績予想の修正（平成18年7月1日～平成19年6月30日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	14,500	900	380
今回修正 (B)	13,665	535	△2,054
増減額 (B - A)	△835	△365	△2,434
増 減 率	△5.8%	△40.6%	—

(2) 個別

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	14,300	2,620	1,420
今回修正 (B)	12,834	1,961	△547
増減額 (B - A)	△1,466	△659	△1,967
増 減 率	△10.3%	△25.2%	—

(3) 修正理由

(売上高)

自社製PTCA バルーン「ラクロス」について、期末の販売数増加に向けて生産量の増強を進めてまいりました。日本での生産は、期末までに当初計画の月産数にまで到達し、7月に至っては歩留率の改善により計画数量以上の生産を達成することができました。一方、アイルランド製造工場における生産は、部材供給会社の品質上の問題から、予定よりも遅れました。これにより、期末における「ラクロス」の販売計画が未達となりました。

また、昨年从他分野への進出を企図して取扱を開始しておりますマイクラス社製の脳動脈瘤治療用コイルは、市場浸透に時間を要したことから計画に対して未達となりました。

以上の影響により、連結売上高を136億6千5百万円（前回予想比5.8%減）、個別売上高を128億3千4百万円（前回予想比10.3%減）といたします。

(経常利益)

売上減少による影響をコスト削減等で補うことができず、連結経常利益を5億3千5百万円（前回予想比40.6%減）、個別経常利益を19億6千1百万円（前回予想比25.2%減）といたします。

(当期純利益)

監査法人と協議の結果、監査法人の指摘を受容し海外投資先への貸付金に対して10億7千7百万円の貸倒引当金を計上いたしました。また、子会社である株式会社グッドマンヘルスケア ITソリューションズの計上していた繰延税金資産4億9千6百万円の全額に対して評価性引当金を計上いたしました。

加えて、米国子会社で計上している繰延税金資産に対して、回収可能性の判断について監査法人と見解の相違がありましたが、その指摘を受容し、その一部について5億6千万円の評価性引当金を計上いたしました。

また、一部の投資先につきまして社内基準に基づき評価損7千9百万円を計上したことおよび、同評価損に対する繰延税金資産に対して評価性引当金を計上したこと等により、連結当期純損失を20億5千4百万円（前回予想は当期純利益3億8千万円）、個別当期純損失5億4千7百万円（前回予想は当期純利益14億2千万円）といたします。

(注) 業績予想につきましては、本資料作成日現在で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上